

仕 様 書

契約件名 岩手運輸支局外壁改修工事

工 期 契約日の翌日から令和9年3月31日

場 所 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2丁目8-5
岩手運輸支局

1. 工事内容

受注者は、別添「設計内訳書」及び「設計図」に基づき、岩手運輸支局庁舎における外壁の修繕・改修工事を実施し、またその他附帯する工事一式を行うこと。

2. 養生及び安全の確保

- (1) 受注者は、工事に必要な機材等の搬入・搬出にあたっては、事前に適切な養生を行い、既存の施設、物品等に損害を与えないよう十分に注意すること。
- (2) 受注者は、工事を開始する前に「工事のお知らせ」の看板等を掲示し、工事が行われることを利用者及び職員に認識してもらうこと。
- (3) 受注者は、資機材及び残材等近隣への飛散を防止すること。また、資材置き場の立ち入り禁止対策を行うこと。
- (4) 受注者は、構内で接触事故の無いよう最徐行運転を行う等十分に注意すること。
- (5) 受注者は、工事にあたり既存の施設、物品等に損害を与えた場合は、受注者の責任において直ちに修復あるいは代替品をもって弁償すること。
- (6) 本工事の施工場所は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域が含まれる工事であることから、受注者は、別添「北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時の対応」に基づき安全確保のための措置を講ずること。

3. 監督及び検査

(1) 監督

受注者は、本仕様書の各事項に不明な点がある場合は、発注者の指定する監督職員と打合せのうえ、その指示に従うこと。

(2) 検査

受注者は、工事を完成させたときはその旨を発注者に通知し、発注者の指定する検査職員の検査を受けなければならない。

なお、受注者は、検査の結果不良箇所を認めたときは、直ちに交換若しくは補修しなければならない。

4. その他

- (1) 受注者は、契約締結後速やかに工程について監督職員あて連絡すること。
- (2) 受注者は、施工前に現場代理人及び主任技術者を選任し、届け出ること。

- (3) 受注者は、工事を頭書に掲げる工期内に完成し、工事目的物を発注者に引き渡すものとする。なお、冬期間における気温低下や降雪等により影響を受ける作業については、原則12月までに完了することとする。
- (4) 受注者は、工事にあたり事前に監督職員と十分な打合せを行い、業務に支障を来さないよう十分な配慮を行うこと。
- (5) 受注者は、原則平日9:00～17:00に作業を行うこととするが、やむを得ない場合は発注者と協議の上、休日（土・日曜日及び祝祭日）の作業も可能とする。
- (6) 受注者は、荷揚げ、荷下ろしに伴い駐車場を使用する場合は、事前に監督職員と協議の上日程を決定し、作業を行うこと。
- (7) 受注者は、工事に伴って発生した廃材は適法に受注者の責任において完全に処分すること。
- (8) 受注者は、本工事を当該仕様書に基づき施工するものとする。また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」等ならびに諸関係法規及び規則に準拠し、安全かつ円滑に施工すること。その他必要事項は監督職員の指示に従うこと。

北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時の対応

- (1) 本工事の施工場所は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域が含まれる工事である。
- (2) 受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表時における、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業に対する措置（「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の発表に基づき注意する措置及び受注者が必要に応じて警戒する措置）の内容及び津波避難を含む作業員等の安全確保の方法について施工計画書に記載するものとする。なお、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震津波避難対策特別強化地域における工事にあつては、津波避難に関して施工計画書に記載するものとする。
- (3) 受注者は、北海道・三陸沖後発地震注意情報が気象庁から発表された場合には、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、改めて後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、建築工事安全施工技術指針等に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。
- (4) 受注者は、北海道・三陸沖後発地震注意情報を受けて措置を行った場合においては、実施した内容について監督職員に報告するものとする。
- (5) なお、北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表があつた場合は、後発地震及び津波の発生に備えるため必要に応じて、受注者は施工計画書の記載にかかわらず、工事の一時中止について監督職員と協議できるものとする。

設 計 内 訳 書

工事名称： 岩手運輸支局外壁改修工事

令和8年7月

有限会社 石山設計事務所

金 円 (工事価格 金 円)					
(種目別内訳)					
名 称	摘 要	数量	単位	金額	摘要
直 接 工 事 費					
I 建 築 工 事	改修	1	式		
II 電 気 設 備 工 事	改修	1	式		
計					
共 通 費					工期:3.0ヶ月
I	共通仮設費積上分	1	式		
	共 通 仮 設 費 (監理事務所不要)	1	式		
	計				
II 現 場 管 理 費		1	式		
III 一 般 管 理 費		1	式		
計					
合 計(工事価格)					
端 数 調 整		1	式		
合 計 (工 事 費)					
消費税等相当額		1	式		10.00%
総合計(工事費)					

項目	名 称	種 別・形 状	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
I	建築工事						
1,	直接仮設工事		1	式			
2,	改修工事						
2,1	撤去工事		1	式			
2,2	外壁改修工事		1	式			
2,3	塗装改修工事		1	式			
2,4	防水改修工事		1	式			
2,5	LPG置場屋根改修工事		1	式			
2,6	その他工事		1	式			
	計						
3,	発生材						
3,1	発生材 積込・運搬		1	式			
3,2	発生材 処分		1	式			
	計						
II	電気設備工事						
1,	改修工事		1	式			
	共通費積上げ		1	式			

項目	名 称	種 別・形 状	数 量	単位	単価	金 額	摘 要
2,	改修工事						
2,1	撤去工事						
	軒天撤去	石綿板貼り	24.7	m2			
2,2	外壁改修工事						
	施工前調査	目視、打診、マーキング・計測、報告書	841	m2			
	下地処理	水洗い 既存RC面外壁、基礎	641	m2			
	下地処理	水洗い 押出成形セメント板t60縦張り	200	m2			
	下地調整	塗膜脆弱部撤去 ケレン(飛散防止共)/剥離剤	64.1	m2			外壁RC面10%
	下地調整	カチオン系セメント下地材	64.1	m2			外壁RC面10%
	下地調整	躯体欠損部、鉄筋錆止共 樹脂モルタル補修 100角程度	10.0	か所			材工共
	下地調整	躯体欠損部、鉄筋錆止共 樹脂モルタル補修 100×200程度	2.0	か所			材工共
	下地調整	躯体欠損部、鉄筋錆止共 樹脂モルタル補修 100×300程度	2.0	か所			材工共
	爆裂部補修	研り、除錆、防錆 L=300未満	6.0	ヶ所			材工共
	外壁クラック補修	無機質型注入機 0.2~1.0mm	273	m			材工共
	可とう形改修塗材E	凹凸状ローラー シリコン樹脂 コンクリート打放	590	m2			材工共
	可とう形改修塗材E	凹凸状ローラー シリコン樹脂 押出成形セメント板	200	m2			材工共
	可とう形改修塗材E	凹凸状ローラー シリコン樹脂 RC造基礎	32.8	m2			材工共
	保護塗料塗り	S造基礎	17.8	m2			材工共
	計						
2,3	塗装改修工事						
	下地調整	鉄部 SD・ガラリ・換気カバー	68.5	m2			
	下地調整	金属製スパンドレル ポーチ軒天	12.3	m2			
	下地調整	スチールシャッター	14.6	m2			
	下地調整	鉄部 屋根鉄骨下地	2.0	m2			
	DP塗装	鉄部 SD・ガラリ・換気カバー	68.5	m2			材工共
	DP塗装	金属製スパンドレル ポーチ軒天	12.3	m2			材工共
	DP塗装	スチールシャッター	14.6	m2			材工共
	DP塗装	鉄部 屋根鉄骨下地	2.0	m2			材工共
	計						

項目	名 称	種 別・形 状	数 量	単位	単価	金 額	摘 要
2,4	防水改修工事						
	シーリング	開口部 MS-2 10×10	67.6	m			既存撤去共 材工共
	シーリング	開口部 MS-2 15×10	323	m			既存撤去共 材工共
	シーリング	MS-2 25×10 外壁縦目地	369	m			既存撤去共 材工共
	シーリング	MS-2 25×10 外壁縦目地	329	m			既存撤去共 材工共
	シーリング	MS-2 25×10 その他	19.1	m			既存撤去共 材工共
	計						
2,5	LPG置場屋根改修工事						
	波型石綿スレート小波板屋 根撤去		1.7	m2			
	軒天曲面スレート撤去	R=200 小波	0.8	m2			
	ケラバ押え石綿スレート撤去		0.2	m2			
	アルミ製水切撤去		16.5	m			
	ガルバリウムカラー鋼板新設		0.7	m2			
	折り板屋根t0.6新設	山高88 既存下地ビス止め	2.1	m2			
	水切新設		16.5	m			
	計						
2,6	その他工事						
	既存看板取外し	復旧共 W5000×H800程度	1.0	か所			ビス打ち部シーリング共
	既存看板取外し	復旧共 W300×H600程度	3.0	か所			ビス打ち部シーリング共
	既存看板取外し	復旧共 W500×H750程度	1.0	か所			ビス打ち部シーリング共
	既存切文字撤去	SUS 200角	11.0	文字			
	植栽ブロック撤去	W180×H300	4.0	か所			
	切文字新設	フィルム貼り SUS 200角	11.0	文字			材工共
	植栽ブロック新設	W180×H300	4.0	か所			材工共
	計						

